

瀬戸内海環境保全知事・市長会議議長表彰受賞者一覧

受賞団体名 (代表者名)	功 績
ありあけはま うつく かい 有明浜を美しくする会 (代表者: 國土 セツ子)	17年間にわたり、市民県民が誇る砂浜の景観及び海岸の保全活動を続けることを通じて、地域住民や子どもたちの海岸愛護意識の向上に大いに貢献した。
せとないわいにくひつこうえんみやまじまつく 瀬戸内海国立公園宮島地区パークボランティアの 会 (代表者: 村上 光春)	平成12年から、宮島を中心として瀬戸内海国立公園の利用拠点を活動範囲とし、中国四国地方環境事務所広島事務所と連携協力して、国立公園の保護と適正な利用に寄与する活動を目的として、公募観察会活動、海岸・園地・登山道等の清掃活動、樹木名板の取付け保全作業、貴重動植物の保全整備作業等により、環境保全に貢献した。
しゃみ じちかい 沙弥自治会 (代表者: 高尾 義明)	昭和28年の設立当初から、坂出市沙弥島の海岸清掃活動を実施し、最近では、「リフレッシュ瀬戸内」「香川県の水環境保全推進員」等の公的活動にも従事している。H25年瀬戸内芸術祭の開催に際して、会場周辺道路・海岸線の自主的な清掃、見回り・点検等を実施し、環境美化による観光客受け入れに寄与する等、地域住民の環境意識の高揚に貢献した。
とくていひえいりかつどうほうじんえがわ 特定非営利活動法人江川エコフレンド (会長: 岡田 年弘)	平成12年に設立され、江川周辺地域の清掃・除草活動、炭のネットを利用した下水の浄化等の環境保全活動、地元小学校の総合学習として、水質調査等の体験学習等の環境教育、パネル展示・広報誌等を利用した住民への啓発活動等により、環境保全と普及啓発に貢献した。
とくていひえいりかつどうほうじんかんきょう 特定非営利活動法人環境NPOサン・ラブ (代表者: 入江 英昭)	平成13年度から河川の清掃や植樹の活動を実施し、環境微生物「えひめAI-1」等の利用による排水浄化及び景観保全に関する事業や家庭からの廃油を利用した廃油石けんやバイオ・ディーゼル・フューエルの製造により家庭排水の環境負荷軽減に取り組むなど循環型社会の構築及びまちづくり活動に関する事業により環境保全に貢献した。
とくしまけんかんきょうえいせいいくみあいれんごうかい 徳島県環境衛生組合連合会 (会長: 森 光子)	昭和46年に設立され、県内各地域の環境美化活動、清掃美化活動に功労のある個人・団体の顕彰、会員活動の普及啓発などの各種活動を実施し、住民自らの手による環境衛生の実践活動と生活環境の保全に貢献した。
とんだがわ うつ かい 富田川を美しくする会 (代表者: 大野 貞基)	40年近くにわたり、富田川を中心とした環境美化活動に取り組み、川に放流している鯉の育成や流域兩岸に花木草花の植栽等の活動では、「鯉の泳ぐ川」として市民に憩いの場を提供している。また、親子三代ふれあいの場一斉清掃等各種行事を通じて住民に水環境保全の大切さを普及啓発した。

受賞者名(年齢) 職 名	功 績
あさの みきお 浅野 甘喜夫 (70) もとかさおかしりつ ほんくぶつかんかんちょう 元笠岡市立カプトガニ博物館館長	昭和40年から岡山県笠岡市内の中学教諭として地域の自然の教材化、自然観察、自然保護について指導を行う。カプトガニの保護及び繁殖地の自然保護活動に取り組み、「里浜づくり」、「海辺の学校」等にも携わり、笠岡市や瀬戸内海沿岸各地で環境保全・普及啓発に貢献した。
あらし かずお 嵐 一夫 (66) もとひょうごけんかんきょうかんりききょくちょう 元兵庫県環境管理局长	永年にわたり、兵庫県の水質環境行政に幅広く関わるとともに水質課長(瀬戸内海環境保全知事・市長会議事務局長)として関係府県市との連携強化に努め、瀬戸内海の環境保全を図る組織、基盤づくりに大きく貢献した。
おおつか こうじ 大塚 耕司 (49) おおさかふりつだいがくだいがくいんきょうじゅ 大阪府立大学大学院教授	りんくう公園内海における水質底質及び生態系調査等の調査研究、堺エコロジー大学(堺市)等各種市民講座での講演、環境人材育成教育プログラム(大阪府立大学)の実施による人材育成等、19年以上にわたって、環境保全・普及啓発に貢献した。
もりなか けんじ 森中 憲治 (71) ぜんこうのしまみさきじちかいかいちょう 前神島見崎自治会会長	笠岡市神島を主な活動場所として、平成16年から始まった「里浜づくり」活動に当初から携わり、海の環境について学び親しむ活動・清掃活動等、中心となって熱心に活動している。アマモ場の再生に向けた活動では、小学生等への普及啓発や海の環境改善に貢献した。